



おまち

Vol.
143

2024. 7. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



前橋市 国交省自動運転バス実証実験



モビリティイノベーション!!

- 地域公共交通の救世主!? 前橋市の自動運転バスの取組について
- 観光拠点としてサイクリングターミナルが再開
隣接する南側にはパークPFIにより体験型公園が供用開始!

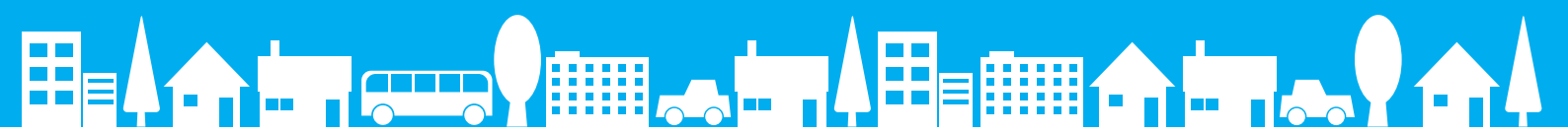
【トピックス】 **片品村と自主防災会が「防災まちづくり大賞」を受賞しました!**
～命を守る行動「片品村地区防災計画(全域32地区)個別計画策定」～

【トピックス】 **馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクトの完成**
～民間主体の公共空間整備～

- 【マーチィ'sROOM】 ● マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
● マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介
● マーチィの掲示板 ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム開催のおしらせ
● まち'sクリの独り言

【まちづくりイベント情報】 ● 県内で行われるイベントの紹介





地域公共交通の救世主!?

前橋市の自動運転バスの取組について

群馬県 都市計画課(取材協力 前橋市 交通政策課)

自動車依存の進行と公共交通の衰退及び市街地の拡散は、日本における社会問題の大きな原因の1つになっています。また、バスやタクシードライバーの高齢化、鉄道の路線の存続について危ぶまれるような報道がされるなど、公共交通を取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。

コンパクトシティの必要性が叫ばれる中で、持続的な公共交通ネットワークはその重要性を日々増してきています。

そのような中で、前橋市では、地域公共交通に関する取組で国土交通大臣表彰を受賞するなど(詳細は、おっ!!まっちい~141号参照)他市町村の模範となる取組を行っています。

今回は、そのような中でも、特に注目されている前橋市の自動運転バスの実証実験について、まっちい~ずでお話を伺いました。

■ 実証実験のきっかけ

※以下 Q:まっちい~ず A:前橋市交通政策課

Q:前橋市で自動運転バスの実証実験を始めたきっかけは?

A:平成29年に群馬大学が前橋市内に次世代モビリティ社会実装センター(CRANTS)を設立しました。限定区間での完全自動運転(レベル4)の実現を目指し、公道での実証実験について前橋市へ打診があったのが、実証実験のきっかけです。

現在の実証実験は、前橋市、群馬大学、日本中央バスでかつて締結した3者協定をベースとして、公道における実証実験を継続しています。

実証実験を始めるにあたり、色々検討したところ、現在の中央前橋駅~前橋駅の区間で開始することになりました。

Q:なぜ、交通量も多く難しそうな現在の区間でスタートさせたのですか?

A:確かに、前橋駅から中央前橋駅の区間は、交通量も多く、社会実験の区間としては難易度が高いところですが、

- ①需要がある路線であること
- ②他路線に展開がしやすいこと
- ③実証実験区間の距離が適切であること
- ④路線ダイヤを変更せずに実証実験をできること

などの理由から、この区間で実証実験を行う事としました。



次世代モビリティ社会実装センター(CRANTS)

○前橋市



実証実験の実施体制

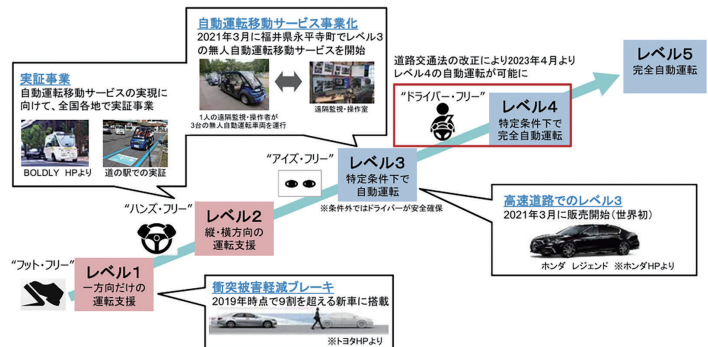
■ 自動運転バスの実証実験について

Q:現在の実証実験について、どのようなことをしているのか教えてください。

A:直近で行った令和5年度の実験では、2月5日~2月29日の期間で水曜日と日曜日を除いて、中央前橋駅から前橋駅の区間で実証実験を行いました。

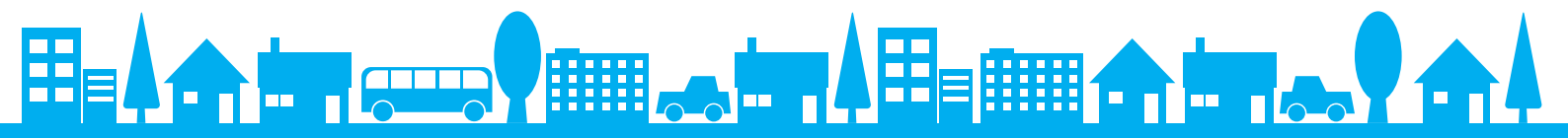
公道で時速25kmの速度で実験を行っていましたが、昨年度の実証実験から時速35kmに速度がアップしました。

2018年に国内初の路線バス自動運転レベル2の長期運行を開始してから、6年以上積み重ねている取組になっています。



自動運転のレベル

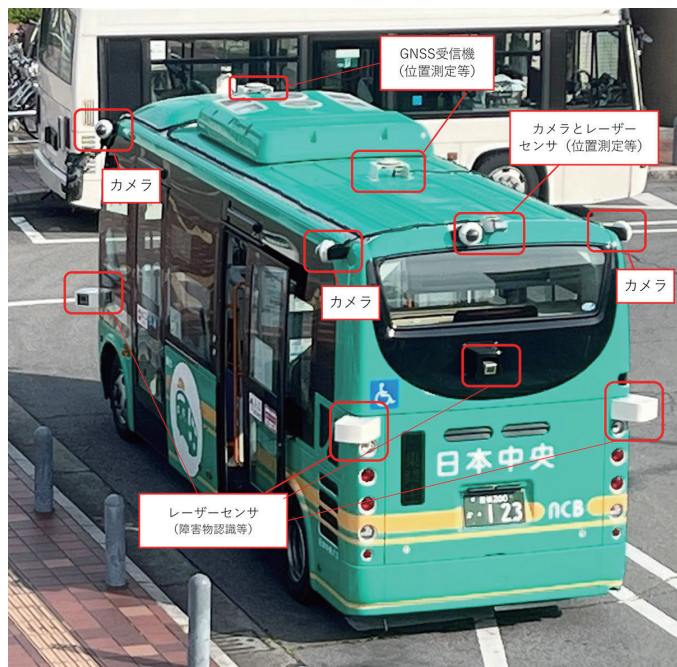
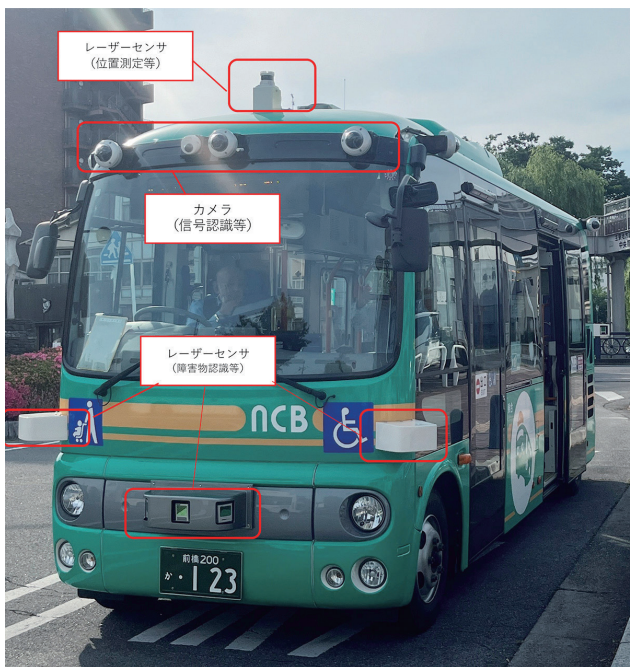
出典「自動運転の実現に向けた取り組みについて」国土交通省自動車局



■ 自動運転バスの仕組みについて

Q：自動運転バスの仕組みについて教えてください。

A：簡単に言えば、写真のようにバスの車体にカメラとレーザーセンサを取り付けてあり、そこで信号や障害物の認識と自車の位置を測定しています。GPSと走行ルートについて予め調整した3Dマッピングにより自車の位置を測定しています。現在は、レベル2の実証実験なので、運転席にはドライバーが座り、安全確認はドライバーが実施するとともに、緊急時には手動運転に切り替えています。



nolbé(ノルベ・地域連携ICカード)カラーに彩られた自動運転バスの車両

※キャプションは、取材を基に県都市計画課で作成

Q：実際に、2月の実証実験中のバスに乗車させていただきましたが、驚くほどスムーズで、交通量の多い中心市街地を走っているとは思えないほどでした。私が乗ったときには、他のお客さんも特に驚くこと無くバスに乗車しているのが印象的でした。市民からの反応はいかがですか？

A：導入した当初は反響がありましたが、今はありがたいことに大きな反響はありません。前橋市民にとっては、実証実験が当たり前前に受け入れられており、日常化してきたのではないかと思います。市民アンケートの結果でも好意的な反応が多く、嬉しく思っています。

■ 前橋市が目指す自動運転バスのこれからについて

Q：前橋市がこれから目指している自動運転バスのあり方について教えてください。

A：令和7年度にレベル4の実証実験を公道で行うことを目指しています。ただ、前橋市にとってそれがゴールではなく、あくまで自動運転は公共交通のあり方の1つであると考えています。担当としては、自動運転が地域公共交通の維持、拡充に繋がり、更には現在実施している様々な取組と相乗効果を生み出し、市民にとってより個別最適化された交通サービスを提供していきたいと思っています。

Q：自動運転の導入について他の市町村に何かメッセージはありますか？

A：自動運転については、国が2025年に50箇所の実装するという目標を掲げていることもあり、国も総力を挙げて支援する状況になっています。実施するにはチャンスが到来していると感じています。自動運転バスは、運転手不足の解消といった観点からも地域公共交通にメリットがあるので、是非検討して欲しいと思っています。

—業務でお忙しい中、取材に親切に対応して頂き、大変助かりました。

前橋市交通政策課の皆様ありがとうございました。これからも実証実験頑張ってください!!

参考 「自動運転の実現に向けた取り組みについて」 国土交通省 自動車局作成
<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001609155.pdf>





観光拠点としてサイクリングターミナルが再開 隣接する南側にはパークPFIにより体験型公園が供用開始!

塚原緑地研究所(里沼リゾート Hotel KOMORINU)
館林市 つつじのまち観光課・群馬県 都市計画課

館林市に所在する「つつじが岡公園」は館林市を代表する観光名所であり、周辺に位置する城沼は令和元年度に「日本遺産」に認定されています。

そのほとりに位置するサイクリングターミナルは、老朽化により休止していましたが、景観を活かした宿泊施設として市民から再開を求める声が強くなり、市は指定管理者制度及びPark-PFI制度を進め、名称を「里沼リゾート Hotel KOMORINU(ホテルコモリヌ)」とし、令和6年4月11日(木)に営業を再開しました。

今回は初夏の眩しい日差しの5月某日、オープン直後でお忙しい中まっつい〜ずで現地に取材し、涼やかな水辺の空気に癒されながら指定管理者の塚原緑地研究所さんにお話をお伺いしてきました!

―館林市に着目した理由は何ですか？

日本遺産である「里沼」やつつじ祭りで有名なつつじが岡公園を中心とした豊富な自然を備えた観光資源を有しながら、都市部からのアクセスも比較的容易な場所での観光事業に貢献したいと考えました。

―「里沼リゾート Hotel KOMORINU」について教えてください。

日本遺産である里沼を一望できる客室は全室ツインルームでゆったりとした間取りになっています。ベッドはシモンズベッドのセミダブル使用となっています。客室設備としては各部屋に空気清浄機を完備し、Wi-Fiの設備も備わっていてワーケーションなどにも対応した施設となっています。

―Park-PFIにて設置されるキャンプ場、バーベキュー場などのコンセプトなどについて教えてください。

インターチェンジからほど近く、また、近隣に商業施設もある立地から、アウトドア初心者にも優しいキャンプ場を目指し、「ゆるキャン」のスポットになればと思っています。

―里沼を交えて、自然を満喫できるような施設になっているかと思うが、今後どのような施設にしていきたいですか？

館林市外から訪れる観光客の方々には館林市の魅力をしっかりと伝え、非日常空間としての癒しを提供できるようにしていきたいと思っています。また、館林市民の皆様には地元として誇りになるように親しみを感じていただける様な施設にしていきたいと考えています。

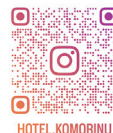


中庭ではハンギングチェアと館林の「アイドル」たぬぎちゃん達がお出迎え♥

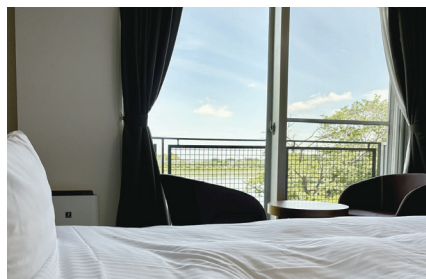
―お忙しい中、取材協力ありがとうございました。皆様も是非遊びに行ってみてください!



サイクリングターミナル時代の面影を残しつつ明るく刷新された「Hotel KOMORINU」玄関



Hotel komorinu
公式ホームページ・
Instagram



春の桜、夏の花ハス、冬の白鳥…
全室窓辺から里沼の四季が楽しめます。



Park-PFIにて設置されたキャンプ場、トレーラーハウス。
トレーラーハウスは4ベッド・テーブルセット完備で、
ウォータービューに癒されます。



談話コーナーから見える里沼



片品村と自主防災会が「防災まちづくり大賞」を受賞しました！ ～命を守る行動「片品村地区防災計画(全域32地区)個別計画策定」～

片品村 総務課

はじめに

片品村では尾瀬かたしなエリアゼロカーボンパーク登録を機に宣言した「片品村5つのゼロ宣言2050」の柱である自然災害による死者ゼロを目指していることから、地区特有の災害に特化した「片品村地区防災計画を全域32地区で個別に策定しました。

この取り組みにより、令和6年2月27日(火)に総務省消防庁より「防災まちづくり大賞」日本防火・防災協会長賞を受賞しました。

片品村地区防災計画(抜粋)▶



「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設されました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

背景

当村は山と川に挟まれた場所に多くの地区(集落)が形成されており、地区ごとに異なる自然災害リスクが考えられるため一律の防災計画で対応することに限界を感じていました。さらに被災状況によっては、公助に時間を有することも考えられるため、地区住民が協力して助け合い、住民自ら考え被災リスクを減らす行動を選択することにより、公的支援をピンポイントで行うことを目指し計画策定を進めました。

取り組みの内容

地域住民を中心に過去に起きた災害とハザード情報を確認し、災害リスクや避難経路(場所)などマップ上で確認しました。地区によっては独自に取り決めた避難場所(民間施設等)も取り入れています。また、防災情報の取得方法等を平時から確認し、災害が差し迫る中、各家庭(個人)がどのような行動をとることが命を守る最善の方法となるのかを簡単なフローチャートで確認できるよう作成しました。この計画は「命を守る行動」に重点をおいた計画であり、被災後は村の特色を生かし宿泊施設等と連携を図る計画としています。



地区避難訓練



防災講習会の様子



片品小防災教室

地区防災計画の活用

地域住民の防災行動を促す上で若年層へのアプローチは重要な役割を持っているため、小学校での防災教育にも活用しています。今年度は子ども目線での通学路の危険箇所情報も取り入れます。各地区では年1回計画の見直しを行い、全戸周知を図ることにより住民一人ひとりの避難計画として活用できるよう取り組みを進めています。

片品村では住民と村を訪れる人々の「自然災害による死者ゼロ」を目指しこの取り組みを進めていきます。



馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクトの完成 ～民間主体の公共空間整備～

前橋市 市街地整備課

■「前橋市アーバンデザイン」

前橋市アーバンデザインは長期的まちづくりビジョンの共有を念頭に、官民協働で策定されました。これまでのまちづくりではハード整備が計画の中心になりがちでしたが、前橋市アーバンデザインでは民間による公共空間の利活用などソフト事業によるまちづくりを重視した構成になっています。

この中で、中心市街地の主要な拠点やエリアをつなぐ高い効果が期待できるプロジェクト例として4つのモデルプロジェクトが示され、その中の一つに馬場川通りが挙げられています。

■「馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト」

馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト(以降本事業)の整備箇所は前橋プラザ元気21から中央通り商店街までの約200m。幅員は約12mで、この中に道路、遊歩道公園、準用河川が含まれています。整備前の馬場川通りは車道と遊歩道が縁石により分断され、河川は大きな柵や蓋などにより川の流れが見えにくい状況でした。今回の整備では車道と遊歩道をフラットな空間として一体的に整備するとともに、川側にデッキを張り出し、遊歩道との境にベンチを設置することで滞留空間の確保を行いました。また、視認性を阻害していた柵にテーブル機能をもたせ、さらに階段状のデッキを設置することにより川を身近に感じる工夫をするなどして、親水性を向上させることができました。

整備を担ったのは都市再生推進法人(一社)前橋デザインコミッション(以降MDC)です。MDCは前橋市アーバンデザインの実現に向け設立された民間まちづくり団体で、本事業では説明会やワークショップの実施、社会実験を通して新たなまちの使い方を実践するなど、沿道地権者や沿道店舗などの関係者と一緒に取り組み工夫を行いながら整備後のソフト事業を見据え整備方針を取りまとめました。



整備が完了した馬場川通り



デッキによる滞留空間



馬場川通り 夜景

■「馬場川通りを良くする会」

こうした取り組みを重ねていく中でまちづくり人材が育つことにより、学生や若い世代を中心に「馬場川通り準備委員会」が発足し、通りを活用した社会実験(馬場川パーク)では自ら企画したさまざまな取り組みを実施しました。さらにこのような取り組みが深化し、「馬場川通り準備委員会」と沿道の商店街組合である「馬場川通り親交会」が合流し、「馬場川通りを良くする会」が組成され、現在ではこれまでの商店街組合での活動の他に、新たなまちづくり人材による企画、高質化整備された通りのごみ拾いや落葉清掃などの日常的な管理などのエリアマネジメント活動を実施しています。

4月のまちびらき後も毎月の小さな企画として「ボードゲーム大会」や前橋産バラの販売会「Poppin Rose Market」が定着化されつつあります。また、5月からは維持管理活動の一環としてごみ拾いを行い、その後コーヒーを飲みながら参加者がゆるくつながる「CCC (Cleanup & Coffee Club)@前橋馬場川」も始まり、ハード整備で終わらないソフト事業も一体となった民間が主体のまちづくりが進められています。馬場川通りの活動に興味のある方はMDCまでお問い合わせください。

馬場川通りの活動に興味のある方はこちらまで

①「MDC」の活動について知る

MDC
Maebashi Design Commission



②馬場川通りのイベントに「実行委員」として参加する

毎月の小さな企画や年数回の大きなイベントを開催。実行委員として参加しませんか。

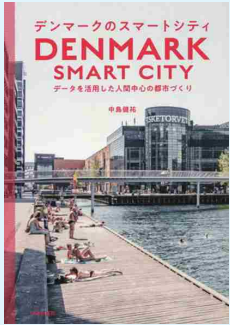




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「デンマークのスマートシティ」著 中島 健祐 (学芸出版社)



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



皆さんはデンマークについて、どのようなイメージを持っていますか? 最新の世界幸福度ランキングでも2位に入るなど、近年では、税負担が高いが、社会福祉制度が充実し、幸福度が高い「福祉国家」というイメージをお持ちの方が多いのではないのでしょうか。

著者はデンマーク外務省に身を置いていた経歴があり、デンマーク国家の中から政策を見つめる立場にありました。本書は「幸福度が高い暮らし」と「持続可能な経済成長」を両立するデンマークについて、社会システムや事例の紹介だけではなく、デンマークの精神性や価値観のもとになったバックグラウンドも解説され、様々な切り口でデンマークの都市づくりを解説しています。

デンマークと日本ではバックグラウンドの違いがあるものの、先進国ながら幸福度が低いと言われる日本が、デンマークから学ぶことが多いのかもしれない。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

古材古道具屋ひの芽 栗原 大輔



ひの芽 栗原 大輔さん



思い出の品をレスキュー

こんにちは! みどり市にできる古材と古道具のリユースショップ「ひの芽」の栗原大輔と申します。解体されてしまう家屋やお片付け中のご自宅へ伺い、行き場を失ってしまった思い出の品々を「レスキュー(回収&販売)」しています。これまで3年間で、延べ200件以上のご自宅から古物を回収し、100回以上イベントに出店して販売してきました。レスキューした古材をテーブルや什器にリメイクして新しいおみせ作りに活かしたり、子どもたちが古材に慣れ親しむワークショップも開催してきました。預かった古物を次の担い手さんにつ

なぐことで、持ち主さんの「捨てるには忍びない」という想いをちょこっとでも救いつつ、地域内でのモノの循環によって、環境負荷も減らしていけるとと思っています。ひの芽が在ることでまちがどう変わるのかはまだ分かりません。けれど、たくさんのモノを捨てながら、新しいモノをつくらせているこの世界で、少しの希望となるような、やさしさで循環するような、そんな場所を育てたいです。捨てられるはずだった古材や古道具を活かし、半径100mのシャッターをあけていく。その連続の先には、きっと素敵な世界が待っていると、ぼくは信じています。

マーチィの掲示板

ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム

「住み続けられるまちづくりのためにー持続可能な交通をつくる責任、つかう責任ー」と題して、まちづくりの分野で全国的にご活躍の和歌山大学経済学部の辻本勝久教授による基調講演のほか、まちづくり功労者表彰や県内の事例発表を行います。

参加には事前の申し込みが必要です。

【日時】 7月26日(金) 13:45~16:00(開場 13:15)

【会場】 群馬会館ホール(前橋市大手町二丁目1-1)

【申込・問い合わせ先】 群馬県都市計画課 TEL: 027-226-3661



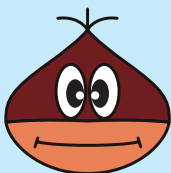
まち'sクリの独り言

今回の「おっ!!まっちい~」からは、令和6年度の担当が作成しているクリ。それと、マーチィが取材をはじめて1年が経ったクリね。

今回の記事もそうクリが、取材に協力していただいた皆様にお礼を言いたいクリ、ありがとうクリ! これからも色々な取組みを取材して、もっともっとまちづくり情報を発信していきたいクリ! 取材依頼も引き続きお待ちしているクリ~

今年度の「おっ!!まっちい~」もよろしくお願ひしますクリ!

今年度の「おっ!!まっちい~」もよろしくお願ひしますクリ!



まちづくりイベント情報

中之条町 旧太子駅 トラック市

5月～9月までの毎月最終日曜日に開催。トラックの荷台などに野菜や特産品を並べて販売します。キッチンカーなども多数参加。
 ■7月28日(日)～9月までの毎月最終日曜日 10:00～15:00
 ■旧太子駅(中之条町大字太子251-4)
 【お問い合わせ先】
 中之条町 六合支所 観光振興係
 TEL 0279-95-3111



とみおかプレーパーク

プレーパークは子どもが自然や人と触れ合いながら、自由に遊ぶ体験を通して、“生きる力”が育つ冒険あそび場です。小さな子からおじいちゃん・おばあちゃんまで、みんなで遊びに来てください。
 ■7月28日(日)と8月18日(日) 10:00～15:00 ※荒天中止
 ■もみじ平総合公園
 【お問い合わせ先】
 富岡市役所 ども政策課
 TEL 0274-62-1511(内線:1119)



沼田まつり

約300人の女性だけで担ぐ「天狗みこし」は迫力満点
 ■8月3日(土)～5日(月) 各日14:00～22:00
 ■沼田市中心市街地ほか
 【お問い合わせ先】
 沼田市産業振興課 商工振興係
 TEL 0278-23-2111(内線:5004)



第61回桐生八木節まつり

桐生市の夏の一大イベントである桐生八木節まつり。県内外から50万人を超える観光客が訪れ、桐生のまちが熱気と興奮に包まれます。
 ■8月2日(金)～4日(日) 8/2 15:00～22:00 8/3-4 正午～22:00
 ■本町通り・末広通りなど市内各所
 【お問い合わせ先】
 桐生市役所 観光交流課
 TEL 0277-46-1111



千代田の祭 川せがき

約150年の歴史を持つ伝統行事です。水難者供養と平和への祈りを込め、利根川河川敷で灯ろう流しや打上花火などが行われます。
 ■8月18日(日)18:00～20:50 ※荒天の場合19日(月)に順延
 ■邑楽郡千代田町赤岩地先利根川河畔
 【お問い合わせ先】
 千代田の祭川せがき実施委員会事務局(千代田町役場 産業振興課内)
 TEL 0276-86-7005



山の日に山の面白さを知ろう。親子向け自然体験プログラム@中之条 対象:小学1年生～4年生の親子

木材活用センターを拠点に自然や木材に触れる体験活動を行います。実際に山に入ったり、木工体験等を実施する予定です。
 ■8月11日(日・祝)10:30～16:00
 ■中之条町木材活用センター 〒377-0542
 群馬県吾妻郡中之条町下沢渡964-1
 【お問い合わせ先】
 TEL 080-6287-9095
 Mail: nakanojo.connect@gmail.com



富岡市 大島火まつり

夏のお盆に行われる百八燈の行事で、毎年、その年にちなんだ文字を地元の人たちがまつり当日に決め、闇夜にその文字が浮かび上がります。
 ■8月16日(金)19:30から点火
 ■城山(大島地区)
 【お問い合わせ先】
 (一社)富岡市観光協会
 TEL 0274-62-6001



林業の秘密を知ろう。実践と体験を通じた環境学習プログラム@中之条 対象:小学5年生～中学3年生

林家(りんか)の方たちと一緒に山に入り、実際に山を整備する活動を行います。その他にも、環境や林業が丸わかりの体験プログラムも実施します。
 ■8月12日(月・振替休日)10:30～16:00
 ■中之条町木材活用センター 〒377-0542
 群馬県吾妻郡中之条町下沢渡964-1
 【お問い合わせ先】
 TEL 080-6287-9095
 Mail: nakanojo.connect@gmail.com



2024おうら祭り

邑楽町の最大イベント。子どもから大人まで楽しめるイベント盛りだくさん。フィナーレの打上花火は約8,000発。夏の夜空を盛大に彩ります。
 ■8月18日(日)13:00～20:30(予定)
 ■おうら中央多目的広場
 【お問い合わせ先】
 邑楽町役場商工振興課(おうら祭り実行委員会事務局)
 TEL 0276-47-5026



富岡花火大会

大島火まつりと同時開催され、夏の夜空に約1,000発の花火が打ち上げられます。富岡合同庁舎駐車場から観覧することもできます。
 ■8月16日(金)19:45～20:15(予定)
 ■和合グラウンドを予定
 【お問い合わせ先】
 (一社)富岡市観光協会
 TEL 0274-62-6001



とねふるさと風のまつり、老神温泉納涼花火大会

子供から大人まで楽しめるイベントです。夏休み最後の思い出作りに是非お越しください！
 ■8月18日(日)15:00～21:00(予定)
 ■利根老神多目的広場
 【お問い合わせ先】
 利根町観光協会
 TEL 0278-20-5050
 【ご宿泊のお問い合わせ先】
 老神温泉観光協会
 TEL 0278-56-3013



総合建設コンサルタント 株式会社 アイ・ディー・エー I.D.A

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開



官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。



群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
 TEL 027-384-6600
 FAX 027-384-6601
 URL: https://www.ida-web.jp

県立公園アイ・ディー・エー群馬の森 指定管理者 (令和6年度～)

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】 群馬県国土整備部都市計画課企画推進係
 TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html

